



創立120周年記念式典・記念講演会

令和元年6月28日（金）に、高崎市音楽センターにおいて創立120周年記念式典及び記念講演会が行われました。

本校は明治32年5月に群馬県で最初の高等女学校として設立され、今年で創立120周年を迎えました。本校の卒業生は現在3万4千人を超えています。

校長式辞では、校歌の言葉を用い、伝統の継承と未来の創造について触れられました。たどり着いた道から次の一步を踏み出す勇気を与えてくれるのは先人の切り開いた道と、その道が証明している「学ぶ」という行為の可能性であり、その学びの道を勇みゆく決意を胸に刻んで欲しいとの話がありました。

生徒代表誓いの言葉では高崎女子高校の伝統を忘れることなく、今日を新たな歴史へのスタートとする決意が述べられました。

また、記念事業として同窓会からマイクロバス、教育振興会やPTAから部活動備品や記念品が贈られました。

開校記念式典後には、「もうひとつの身体としてのことばー感じる/考える/伝える」をテーマに、東京大学副学長・大学執行役である佐藤健二先生（高崎市出身）による記念講演会が行われ、貴重な話を伺うことができました。



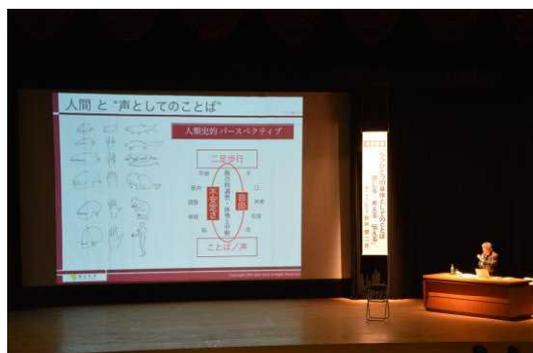
120周年記念式典の様子



120周年記念式典 式辞



校歌合唱



記念講演会